

# 「大学入学希望者学力評価テスト（仮称）」の各教科において、 大学教育を受けるために必要な能力としてどのような力を評価すべきか？（案）

## 1. 総論

今後の社会の在り方やその変容の動向を踏まえれば、大学入学者選抜においては、大学における学修や社会生活において必要となる問題発見・解決の能力、すなわち、主体性を持って多様な人々と協働しながら、問題を発見し、その解決策をまとめ、実行するために必要な諸能力を有しているかどうかを評価することが一層重要となる。（詳細は次ページのイメージ参照。）

⇒ そのためには、「大学入学希望者学力評価テスト（仮称）」においては、各教科の知識をいかに効率的に評価するかではなく、特に、

- ①内容に関する十分な知識と本質的な理解を基に問題を発見・定義し、
- ②様々な情報を統合しながら問題解決に向けて主体的に思考・判断し、
- ③そのプロセスや結果について表現したり実行したりするために必要な諸能力をいかに適切に評価するかを重視すべき。

このような諸能力を働かせることが必要となる状況をいかに設定し評価するかという観点から作問に取り組むべき。

⇒ 大学教育においてはこうした諸能力をさらに磨いていくことを重視する、また、高等学校教育においても、多様な進路に応じて必要な能力を伸ばす中で、こうした諸能力の育成を重視するという、メッセージとセットで打ち出すことが必要。

## 2. 求められる諸能力の育成のために各教科で重視すべきプロセス

### <国語>

例えば、

多様な見方や考え方が可能な題材に関する文章や図表等から得られる情報を整理し、概要や要点等を把握するとともに、他の知識も統合して比較したり推論したりしながら自分の考えをまとめ、他の考えとの共通点や相違点等を示しながら、伝える相手や状況に応じて適切な語彙、表現、構成、文法等を用いて効果的に伝えること。

### <数学>

例えば、

事象から得られる情報を整理・統合して問題を設定し、解決の構想を立て、数量化・図形化・記号化などをして数学的に表現し、考察・処理して結果を得、その結果に基づきさらに推論したり傾向や可能性を判断したりすること。

### <理科>

例えば、

観察した自然事象の変化や特徴を捉え、そこから得られる情報を整理・統合しながら、問題を設定し仮説を立て予測し、それらを確認するための観察・実験を計画して実践し、得られた結果から傾向等を読み取ったり、モデルや図表等で表現したりするとともに、結果に基づき推論したり、改善策を考えたりすること。

### <地理歴史（世界史）>

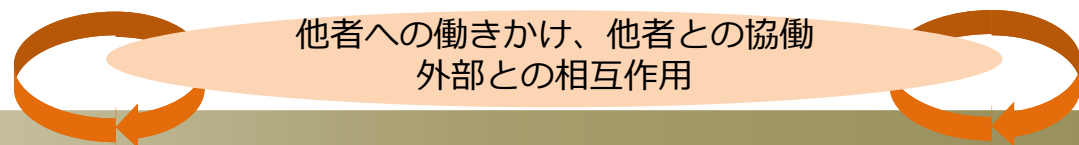
例えば、

文章や年表、地図、図表等の資料から、歴史に関する情報を整理し、その時代の人々が直面した問題や現代的な視点からの課題を見だし、その原因や影響、あるいは解決策等についての仮説を立て、諸資料に基づき多面的・多角的に考察し、その妥当性を検証し考えをまとめ、根拠に基づき表現すること。

### <英語>

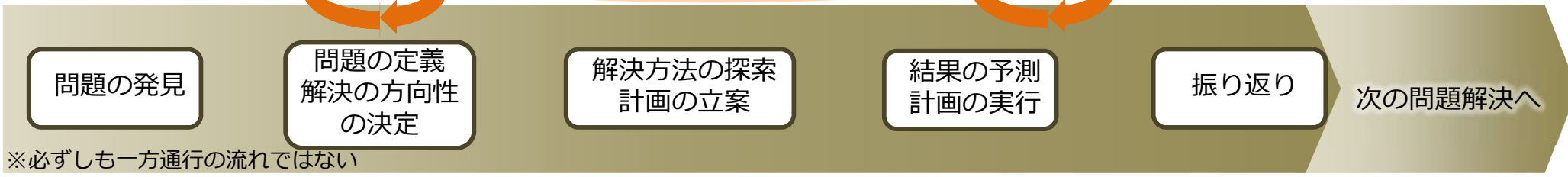
例えば、

多様な見方や考え方が可能な幅広い話題・問題に関する情報を聞いたり英文や図表などを読み取り、情報を整理しながら概要や要点を把握し、得られた情報を統合するなどして活用しつつ、様々な見方や考え方の共通点や相違点等を示しながら、自分の考えや主張を適切な語彙、表現、文法等を用いて効果的に伝えること。

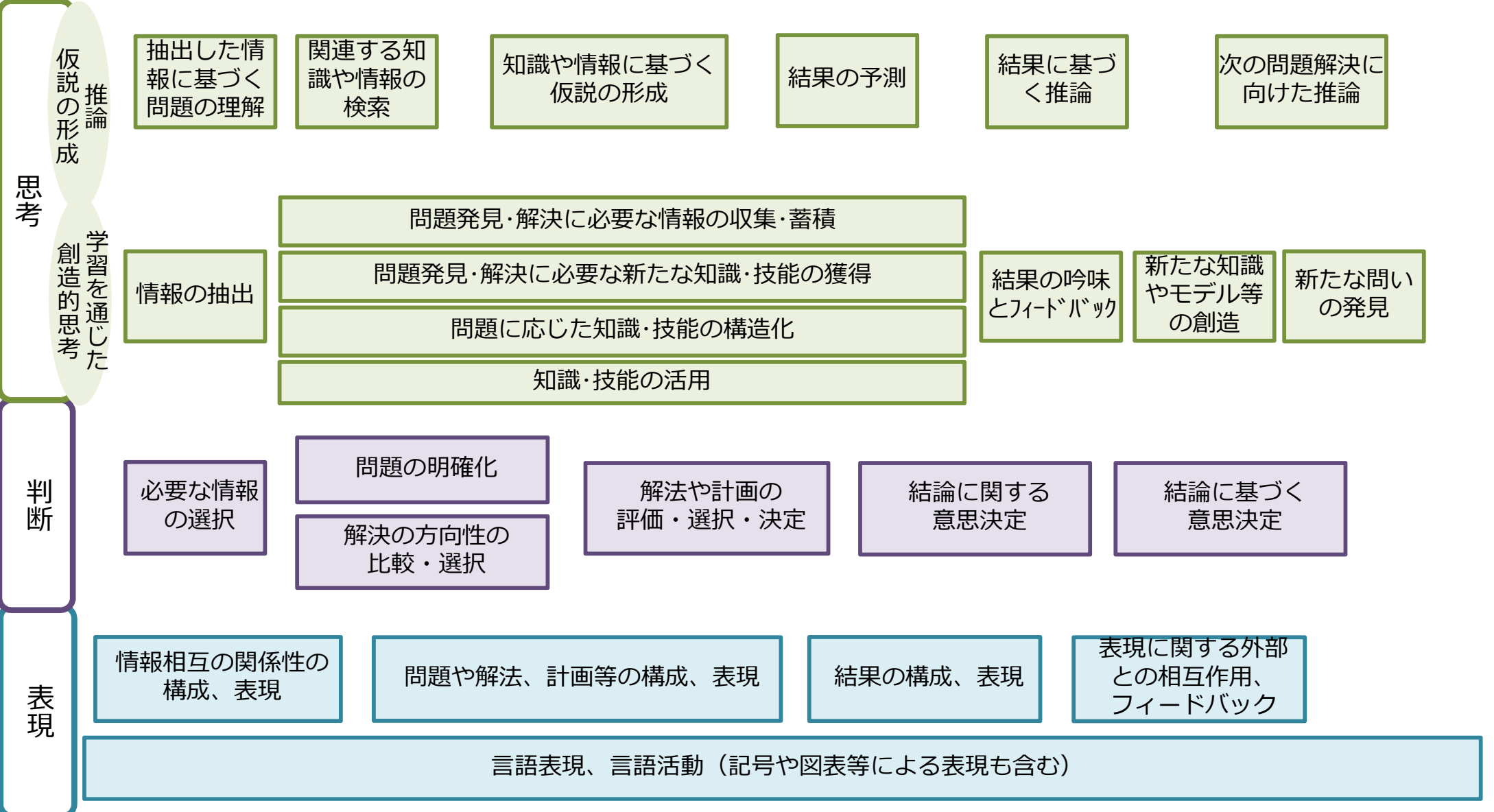


他者への働きかけ、他者との協働  
外部との相互作用

問題発見・解決  
のプロセス



プロセスの中で働く思考・判断・表現等のうち、特に重視すべきものの例



推論  
仮説の形成

抽出した情報に基づく問題の理解  
関連する知識や情報の検索  
知識や情報に基づく仮説の形成  
結果の予測  
結果に基づく推論  
次の問題解決に向けた推論

思考

創造的思考  
学習を通じた

問題発見・解決に必要な情報の収集・蓄積  
情報の抽出  
問題発見・解決に必要な新たな知識・技能の獲得  
問題に応じた知識・技能の構造化  
知識・技能の活用  
結果の吟味とフィードバック  
新たな知識やモデル等の創造  
新たな問いの発見

判断

必要な情報の選択  
問題の明確化  
解決の方向性の比較・選択  
解法や計画の評価・選択・決定  
結論に関する意思決定  
結論に基づく意思決定

表現

情報相互の関係性の構成、表現  
問題や解法、計画等の構成、表現  
結果の構成、表現  
表現に関する外部との相互作用、フィードバック

言語表現、言語活動（記号や図表等による表現も含む）

### 3. 求められる諸能力の育成のために各教科において重視すべき学習のプロセスと評価すべき具体的な能力(案) (未定稿)

※以下の各教科の内容については、次期学習指導要領に関する中央教育審議会における審議も踏まえ、見直しを行う必要

#### 国語 において重視すべき学習のプロセスと評価すべき具体的な能力(案)

例えば、  
 多様な見方や考え方が可能な題材に関する文章や図表等から得られる情報を整理し、概要や要点等を把握するとともに、  
 他の知識も統合して比較したり推論したりしながら  
 自分の考えをまとめ、  
 他の考えとの共通点や相違点等を示しながら、  
 伝える相手や状況に応じて適切な語彙、表現、構成、文法等を用いて効果的に伝えること

- ア) 与えられた文章や図表等の中から情報を収集したり取り出したりする力
- イ) 文章や図表等の情報を整理し、解釈する力
- ウ) 文章や図表等の情報を要約したり、一般化したりする力
- エ) 目的に応じて必要な情報を見つけ出して文章や図表等の情報と統合し、比較したり関連づけたりする力
- オ) 得た情報を基に、物事を推し量ったり予測したりする力
- カ) 得た情報を基に、立場や根拠を明確にししながら、論理的に思考する力
- キ) 上記ア)～カ)のプロセスを経て、問題解決のための方法や計画(自分の考え)をまとめる力
- ク) 上記ア)～キ)のプロセスで得た情報を構造化し、目的や意図を明確にし、構成や展開を工夫して表現する力
- ケ) 受け手の状況を踏まえて表現する力
- コ) 表現した結果を振り返り、さらに改善する力

# 数学

において重視すべき学習のプロセスと評価すべき具体的な能力(案)

例えば、  
事象から得られる情報を  
整理・統合して問題を設定し、  
解決の構想を立て、  
数量化・図形化・記号化などをして数学的に表現し、  
考察・処理して結果を得、  
その結果に基づきさらに推論したり傾向や可能性を判断したりすること。

- ア) 問題文・図形等の事象やその数学的表現から情報を読み取る力
- イ) 事象から問題解決に必要な情報や条件を抽出・収集したり、仮定をおいて考えたりする力
- ウ) 情報を整理・統合して問題解決の方針を立てる力
- エ) 関係や命題等を、適切な数学的表現を用いて表す力
- オ) 数学の知識や技能を用いて論理的に考察・処理して結果を得る力
- カ) 得られた結果を吟味し、それを基にさらに推論したり、概念・法則・傾向等を見出して体系化したりする力
- キ) 数学的な過程や結果を他者に分かるように伝える力

## 理科(物理)

において重視すべき学習のプロセスと評価すべき具体的な能力(案)

例えば、

観察した自然事象の変化や特徴を捉え、

そこから得られる情報を整理・統合しながら、

問題を設定し仮説を立て予測し、

それらを確認するための観察・実験を  
計画して実践し、

得られた結果から傾向等を読み取ったり、

モデルや図表等で表現したりするとともに、

結果に基づき推論したり、改善策を考え  
たりすること。

ア) 与えられた状況の中から、必要なデータや条件を抽出・収集する力

イ) 抽出・収集したデータについて、それらの間の関係や傾向を見出す力

ウ) 仮説を立てる力

エ) 仮説を確認するための方法を立案し実践する力

オ) 得られた結果にもとづいて仮説の妥当性を検討する力

カ) 検討結果を、グラフや図などを用いて分かりやすく表現する力

キ) 全体を振り返って推論したり、改善策を考えたりする力

## 地理歴史(世界史)

において重視すべき学習のプロセスと評価すべき具体的な能力(案)

例えば、

文章や年表、地図、図表等の資料から、歴史に関する情報を整理し、

その時代の人々が直面した問題や現代的な視点からの課題を見だし、

その原因や影響、あるいは解決策等についての仮説を立て、諸資料に基づき多面的・多角的に考察し、

その妥当性を検証し考えをまとめ、根拠に基づき表現すること。

ア) 歴史資料を読みとき、歴史に関する重要な情報を取り出す力

イ) 資料(文字資料・絵画・写真・歴史地図)と歴史上の事象との関わりを推論する力

ウ) 歴史上の出来事を時系列的に分析したり、因果関係を分析したりする力

エ) 歴史上の出来事や事象の因果関係、歴史上の出来事と現在との関係を多面的・多角的に考察する力

オ) 日本を含む世界の歴史の複合性や関連性を理解する力

カ) 資料等の根拠に基づいて、論理的に表現する力



例えば、

多様な見方や考え方が可能な幅広い話題・問題に関する情報を聞いたり英文や図表などを読んだりして、

情報を整理しながら概要や要点を把握し、

得られた情報を統合するなどして活用しつつ、様々な見方や考え方の共通点や相違点等を示しながら、自分の考えや主張を適切な語彙、表現、文法等を用いて効果的に伝えること

〈「聞くこと」〉

ア) まとまりのある英文や対話文などを聞き、必要な情報を得たり、概要や要点を把握して思考・判断する力

〈「読むこと」〉

イ) まとまりのある英文や図表を読み、必要な情報を検索したり、概要や要点を把握して思考・判断する力

〈「話すこと」〉

ウ) 多様な見方や考え方ができる時事問題や社会問題などについて、自分の意見や考えなどを、即興で話したり、ある程度準備をして適切な語彙・表現・文法を用いて論理的・批判的に話して伝える力

〈「書くこと」〉

エ) 多様な見方や考え方ができる時事問題や社会問題などについて、自分の意見や考えなどを、論点や根拠を明確にしながら、適切な語彙・表現・文法を用いて論理的・批判的に書いて表現する力

〈「技能統合」〉(4技能のうち2技能以上を組み合わせると統合的に活用)

オ) 聞いたり読んだりして得た情報について、その概要や要点を的確に把握するとともに、他の情報も統合しながら自分の考えをまとめ、根拠を示しながら話したり、書いたりして表現する力